

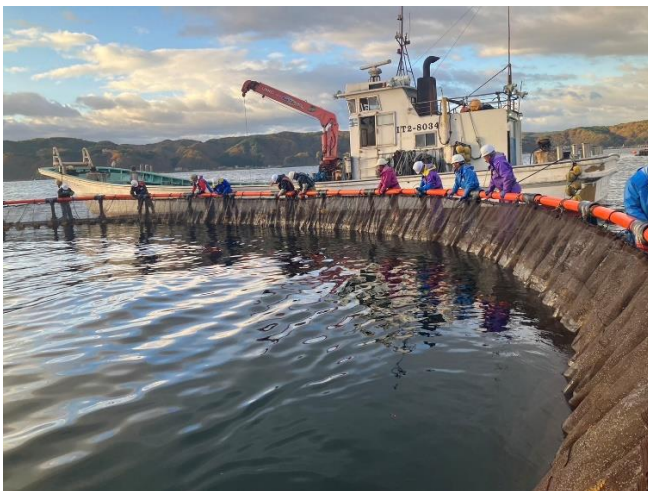
報道各位

リサイクル漁網を用いた養殖生簀を開発し販売を開始しました

ニチモウは経営方針である『浜から食卓までを網羅し繋ぐ』を具現化する事業として環境に配慮した養殖のトータルコーディネートを推し進めております。

この度、日本農産工業㈱、当社グループ会社の㈱ニチモウマリカルチャーと共同でポリエチレン製リサイクル漁網を用いた養殖生簀を開発し販売を開始いたしました。岩手県久慈市と宮城県女川エリアに本製品を導入し、ギンザケの生産を開始しております。また、久慈市では今年度から回転寿司でも人気の高いトラウトサーモンの稚魚を投入し養殖の拡大を試みております。

漁網の水平リサイクルによって、製造された漁網を養殖事業に使用する例は今までに無い取り組みで、リサイクルの前後で用途を変えず廃棄物を再度活用できるため、CO₂排出量削減や資源の節約が期待できます。



リサイクル漁網を用いた養殖生簀



ギンザケ生産開始の様子

当社のコアである海洋事業ではリサイクル漁網を用いた養殖生簀の販売とノウハウの提供。機械・資材事業では環境配慮型資材の供給。そして、食品事業では環境に配慮した生簀で生育した付加価値の高いギンザケを流通することで、事業間を横断した一貫体制でトータルにサポートし、環境に優しい水産物をエンジニアリングしてまいります。

今後ともニチモウグループは持続可能な漁具資材の開発・供給ならびに環境に配慮した水産物の供給を進め、『浜から食卓までを網羅し繋ぐ』を合言葉に、ステークホルダーのみなさまの豊かで健康な生活づくりに貢献できる企業を目指してまいります。

以上